



作成日 2011/04/20  
改訂日 2018/04/01

## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	ASガードモルタル 骨材(GHS)
製品コード	CE-F02-1224
供給者の会社名称	宇部興産建材株式会社
住所	東京都港区芝浦1-2-1 シーバンスN館
電話番号	03-5419-6206
FAX番号	03-5419-6265

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

健康有害性	生殖細胞変異原性 区分2 発がん性 区分1A 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分1(呼吸器系 腎臓 免疫系)
環境有害性	水生環境有害性(急性) 区分外 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か 分類できない。

#### GHSラベル要素

#### 絵表示



注意喚起語	危険
危険有害性情報	H341 遺伝性疾患のおそれの疑い H350 発がんのおそれ H372 長期間にわたる、又は反復ばく露による呼吸器系、腎臓、免疫系の障害
注意書き	粉塵を吸入しないこと(P260) 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。(P280)
対応	換気の良い場所で使用すること 皮膚又は髪に付着した場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ又は取り除くこと。皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。(P303+P361+P353) 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)
保管	ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。(P308+P313)
廃棄	セメントと同様、湿気を避け乾燥状態で保管すること。 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

## 3. 組成及び成分情報

## 化学物質・混合物の区別

## 混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
石英	90～100%	SiO <sub>2</sub>	(1)-548	公表	14808-60-7

## 労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び結晶質シリカ(法令指定番号:165の2)有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)

## 4. 応急措置

## 吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。  
気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

## 皮膚に付着した場合

水と石鹼で洗うこと。  
皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。  
皮膚を速やかに洗浄すること。  
医師の診断、手当てを受けること。  
医師に連絡すること。  
気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

## 眼に入った場合

眼の刺激が持続する場合、医師の診断、手当てを受けること。  
水で数分間注意深く洗うこと。  
医師に連絡すること。

## 飲み込んだ場合

口をすすぐこと。  
医師の診断、手当てを受けること。  
医師に連絡すること。  
気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

## 5. 火災時の措置

## 消火剤

この製品自体は、燃焼しない。

## 特有の危険有害性

それ自身には火災による危険有害性は無い。

## 消火を行う者の保護

消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、  
保護具及び緊急時措置

関係者以外は近づけない。

## 環境に対する注意事項

区域より退避させること。  
適切な保護具を着用する。  
床にこぼした場合は、滑って転倒の恐れがあるので、全量集めて処分すること。  
漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

封じ込め及び浄化の方法  
及び機材  
二次災害の防止策

粉塵が飛散しないようにする。  
掃き集めて、容器に回収する。

漏洩物を回収する。

排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	技術的対策	粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
	安全取扱注意事項	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 眼に入れないこと。 指定された個人用保護具を使用すること 換気の良い場所で取り扱うこと。
保管	安全な保管条件	国又は都道府県の規則に従って保管すること。
	安全な容器包装材	容器を密閉して換気の良い冷所で保管すること。 最初の容器内でのみ保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
石英	0.025mg/m <sup>3</sup>	吸入性粉塵:0.03 mg/m <sup>3</sup>	TWA:0.025 mg/m <sup>3</sup> (R)

設備対策 保護具	呼吸器の保護具 手の保護具 眼の保護具 皮膚及び身体の保護具	適切な換気のある場所で取り扱う。 呼吸器保護具を着用すること。 保護手袋を着用すること。 保護眼鏡/顔面保護具を着用する。 適切な保護衣を着用すること。
-------------	---	--

9. 物理的及び化学的性質

外観	物理的状態 形状 色	固体 固体(粉末) データなし
臭い		無臭
臭いのしきい(閾)値		データなし
pH		データなし
融点・凝固点		データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲		データなし
引火点		データなし
蒸発速度		データなし
燃焼性(固体、気体)		データなし
燃焼又は爆発範囲	下限 上限	データなし データなし
蒸気圧		データなし
蒸気密度		データなし
比重(密度)		2.5
溶解度		水に不溶
n-オクタノール/水分配係数		データなし
自然発火温度		データなし
分解温度		データなし
粘度(粘性率)		データなし
動粘性率		データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	情報なし
-----	------

化学的安定性  
危険有害反応可能性  
避けるべき条件  
混触危険物質  
危険有害な分解生成物

通常の保管条件/取り扱いにおいて安定である。  
データなし  
データなし  
酸、塩基、酸化性物質、還元性物質。  
データなし

11. 有害性情報

石英として

生殖細胞変異原性

In vivoでは、遺伝子突然変異試験で陽性、マウス肺組織のhprt遺伝子突然変異試験で陰性、腹腔内投与によるマウス小核試験で陰性、ヒトリンパ球の染色体異常試験、姉妹染色分体交換試験で陽性、ラット肺、末梢血を用いた酸化DNA傷害試験で陽性又は陰性、ラット肺上皮細胞のDNA切断試験で陽性である。また、哺乳類培養細胞の遺伝子突然変異試験で陽性、陰性の結果、哺乳類培養細胞の小核試験で陽性、陰性の結果、染色体異常試験、姉妹染色分体交換試験で陰性である。以上より、ガイダンスに従い、区分2とした。

発がん性

IARC:グループ 1、日本産業衛生学会:第1群、NTP:K に分類されていることより、区分1Aとした。ヒトにおいて、呼吸器、自己免疫疾患、腎臓への影響が確認されている。したがって、区分1(呼吸器、免疫系、腎臓)とした。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

12. 環境影響情報

石英として

水生環境有害性(急性)

非晶質シリカを用いて試験されたデータで、甲殻類(オオミジンコ)の24時間LL50 > 10,000 mg/L、魚類(ゼブラフィッシュ)の96時間LL0 = 10,000 mg/L(いずれもSIDS, 2013)であることから、区分外とした。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。

容器は清浄してリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

汚染容器及び包装

14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報  
Marine Pollutant  
Transport in bulk  
according to  
MARPOL  
73/78,Annex II ,and  
the IBC code

該当しない  
Not applicable  
Not applicable

国内規制

航空規制情報  
陸上規制  
海上規制情報  
海洋汚染物質

該当しない  
該当しない  
該当しない  
非該当

MARPOL 73/78 附 非該当  
属書II 及びIBC コー  
ドによるばら積み輸  
送される液体物質  
航空規制情報 該当しない

15. 適用法令  
労働安全衛生法

消防法  
海洋汚染防止法  
外国為替及び外国貿易法  
じん肺法

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9)  
名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)  
非危険物  
有害でない物質(施行令別表第1の2)  
輸出貿易管理令別表第1の16の項  
法第2条、施行規則第2条別表粉じん作業

16. その他の情報  
記載内容の取扱い

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載データや評価に関しては、いかなる保証もなすものではありません。また、注意事項は通常取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。